

資金調達計画書

1. 資金調達の概要について

表①：資金調達の概略

(単位：千円)

自己資金	調達形態	出資者名	●● (株)	▲▲ (株)	■ ■ (株)	(株) ◆◆	合計
	資本金	出資者分類	代表法人	構成法人	構成法人	構成法人	—
		出資形態					—
		出資金額					
		(調達割合)	%	%	%	%	%
	株主劣後 ローン	融資金額					
		(調達割合)	%	%	%	%	%
	その他	金額					
		(調達割合)	%	%	%	%	%
	外部借入等	調達形態	資金調達先	〇〇銀行	△△銀行		
優先ローン		融資金額					
		(調達割合)	%	%	%	%	%
社債等 その他		金額					
		(調達割合)	%	%	%	%	%
資金調達額総額							
調達割合							100%

表②：外部借入等の借入条件の概略

(単位：千円)

調達形態	資金調達先	調達額	調達金利	調達時期	返済方法 返済期間	備考
優先ローン	〇〇銀行					
	△△銀行					
社債等 その他						
株主 劣後ローン						

◆備考

- ※1：出資者分類は、代表法人、構成法人の区分を記載すること。
- ※2：出資形態において、普通・優先株式等の優先劣後構造を想定している場合は、その分類を記載すること。
- ※3：株主による劣後ローン等の調達手法を用いる場合は、借入条件を表②に記載すること。
- ※4：調達割合は、資金調達額総額（自己資金と外部借入等の合計）に対する割合を記載すること。
- ※5：外部借入における資金調達先については、関心表明書等を提出した金融機関等を必ず含むものとし、その写しを添付すること。また、これ以外に応募書類の提出時点で決定又は想定しているものについては、可能な範囲で記載すること。
- ※6：設計・建設期間と維持管理・運営期間の調達条件が異なる場合には、各々の借入についてその条件を記載すること。
- ※7：金額は千円未満切り捨て、調達割合の算出に当たっては、小数点第1位までとし、2位以下は切り捨てること。

2. その他

1. 以外の資金調達方法を検討している手法があれば記載してください。

◆備考：

- 1 資金調達企業毎の内訳がわかる形で示し（自己資本については、出資・劣後ローン等の別）、現在検討している金融機関等（社債においては受託会社等を含む。）の名称、社債内容等を具体的に記載してください。
- 2 必要に応じて、本様式の枚数を増やして記載してください。
- 3 金融機関等の関心表明又はそれに類する書類の写しを添付してください。